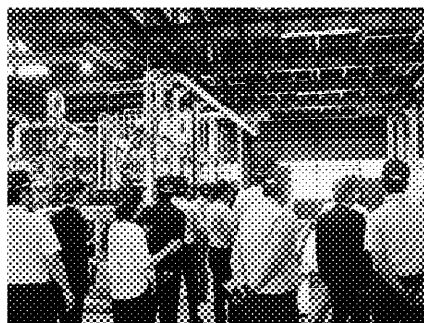


松下工業の現場見学

鑄造協会が全国大会

【浜松】日本鑄造協会は静岡県内の鑄造関連企業の工場見学会を実施した。若手経営者委員会が浜松市中央区で開催した全国大会の一環。3班に分かれてそれぞれが2社訪れた。松下工業（同県磐田市）の本社工場では、鑄物の中空部を作る鑄型「中子」のバリ取りにロボットを活用している現場の様子を見学した（写真）。



松下工業の松下隆彦社長は鑄造での創業か

ら中子製造への業態転換、ロボット活用ノウ

ハウを生かしたSier（システムインテグレート）事業への進出という自社の歴史を紹介。「これからはロボットで自動化していかないと生き残れない」と語りかけ

た。全国大会は鑄造関連企業の後継者の意見交換の場として年2回開催する。今回は約150人が参加した。